

# 登戸学寮 ニュース

第9号 2020年10月20日発行

## リベラルアーツ教育と登戸学寮

理事長 小島 拓人

NPO 法人今井館教友会元理事長の新井明先生は、かつて勤務されていた日本女子大学と敬和学園大学ご在職中に、女子大学文学部論、北越の学園論を論じられ、その一環としてリベラルアーツ教育の必要性を語っておられます(『新井明選集』第3巻)。先生によれば「リベラル」というのは「奴隷」と反対の、古代における自由人の育成というふくみを持ち、個人の知的・人格的発展をめざす「個人の尊厳」の確認と開発が大学の「リベラルアーツ＝自由高等教育」というわけです。学長として勤務された敬和学園大学は、キリスト教主義の教育を基本とし、聖書そのものの教えー「信仰・希望・愛」ーに立つ人格主義教育を掲げた学園であり、人間個人のなかに、国家・社会の定める価値基準にとらわれない自由な芽ー存在価値ーがあることを認め、「神に仕え、人に仕える」ことこそ、「人間らしい心を備えた」人間を生み出して行くのであり、これがリベラルアーツ教育の軸なる「徳育」の内容であると指摘されています。

他方、黒崎幸吉先生が1958年に創立された登戸学寮ですが、黒崎先生は、第二次大戦後の大学教育が就職のための教育と化し、人としての教育が無視されていた実情を憂い、「汝ら若き日にそ

の創造主を憶えよ」(「コヘレトの言葉」12:1)という聖書のことばに基づいて、キリスト教精神に基づく学生寮という共同生活の場を提案され、以て日本のため人類のため生死する人材の育成を目指されました。創立60年余を経たその登戸学寮という事業を今日改めて見直してみますと、それは大学キャンパスという場とは別の学生寮という共同生活の場を通して聖書を学び広い視野を養う学生生活の場を提供するもので、いわば前述のリベラルアーツ教育の大学キャンパス外での実践に繋がるものではないかと思えます。今日は新型コロナウイルスの影響で大学のキャンパスが閉鎖されオンライン授業が主体になって大学教育そのものに閉塞感があります。そうした困難な時代であればこそ、学寮というキャンパス外での共同生活の場での存在価値がこれまで以上に高まっているものと認識致します。そしてそこに新しい時代の道を切り拓き既存の価値基準に囚われないリベラルな発想を有する人材が育つことを期待したいのです。その意味で登戸学寮は黒崎先生による創立時の精神を堅持する中でその今日的意義がますます高まっているのではないかと改めて思う次第です。

## 特集 寮生十色 (入寮のきっかけ、オンライン授業のメリット・デメリットなど)

理事長挨拶	..... 1	理事会・評議員会	..... 7
寮の近況報告	..... 2	寮友会より	..... 10
自己紹介	..... 3	コラム俳句鑑賞の手引き	..... 11
寮生十色	..... 4	ご支援へのお礼とご報告	..... 12
聖書の言葉	..... 6	寮生の出身都道府県	..... 12

## 春夏—Unforgettable 2020—

千葉 恵

「主、家を建て給うにあらずば、建つる者の勤労は徒勞（むな）しく、主、城を護り給うにあらずば衛士（えじ）の覚めをるは徒勞しきことなり」（詩篇 127:1-2）。

## ステイホーム

2020年のオリンピックイヤーはパンデミック一色となり危機の年となりました。新型コロナは衰えを知らず、世界を飲み込んでいきます。創設以来黒崎先生や多くの方々の学寮への蓄積された篤い祈りが疫病にたいし固い盾となり、今日まで感染を免れております。この大嵐のなか、学寮は護られて新たな航海を続けています。

この春桜咲く学寮に多くの新寮生を迎えたこともあり、学寮は若い生命に輝いています。寮生たちの多様な才能、若々しさ、これは壮観でさえあります。ステイホーム期間、医学生呼びかけに縫製家は精密な図面を描き協力者たちと2週間かけて80枚のマスクをミシンで縫い上げました。内装バイト家はカーペット敷き替えを本職さながら仕上げました。昆虫博士は庭掃除の際、虫をみつけるたびに教えてくれます。朝礼拝では子に食べられるハサミムシの母の悲しい話を披露しました。アニメ愛好家は蘊蓄を傾け合い、「今年最高の感動を」とパトス喚起装置と化した商業作品を退け、秀作を遺すべくイチオシを発掘しています。作詞作曲に勤しむボーカリストは仲間と

作品をYou Tubeに次々アップし、六大学野球の応援歌依頼に応じた新曲は大会中止のためまだ陽の目を見ません。数々の短歌賞ハンターにして剣術家はいつも素足で音もなく歩き、真夜中に庭で闇を切り裂いています。音楽家たちのピアノ演奏や歌唱に学寮は華やいています。

そして今どきの学生たちは勉強熱心です。朝5時には黒崎資料室で学ぶ姿が中庭越しに伺えます。就職活動の学生はスーツに身を包み、微動だにせず画面に語りかけています。内定をケーキで祝いました。また語学留学を断念し、大学院受験への一念発起者は資料室に昼夜籠り苦行に身を投じ、この夏8倍を突破しました。黒崎先生の蔵書に囲まれての英語聖書読書会も細々日々続いています。スーパー等で働くバイト生たちとは、この社会で生きるわれらにゼロリスクはありえず、医療、社会、学寮を崩壊させないという合言葉のもとにたとえ犠牲になっても責め合うことなく運命を分かち合おうと励まし合いました。この苦難の日々にあっても若い力に輝いている学寮の日常です。

## 60周年改修工事

8月3日、二つの高気圧に覆われた力強い夏空のもと、築62年の男子棟改修工事が始まりました。仮設足場の気の遠くなるような上下左右運動の運搬、組立に始まり、この過酷な労働条件に耐え抜いた屈強な男たちが一スナフキン帽の黒装束の細身青年を交え一チームで学寮の改修に取り組んでいます。屋上には防水シートが美しくはりめぐらされ、外壁の汚れは高圧洗浄により洗い流され、養生に覆われた壁はシールと三重の塗装により見違える外観となっていきます。耐震工事では鉄筋枠に最後にグラウトが流し込まれ盤石の壁面が出現しました。

学寮の心（ソフト）に賛同くださる多くの方々の、次世代を担う若者への期待のあらわれとしてのご厚志がこのように具体的に形を成していきます。見えない所でのご労苦の果実により、建築

現場の若者たちのエネルギーの迸りを介して、学寮は美しく甦っていきます。改修は10月初旬に竣工し、学寮ニュース次号に報告予定です。

見ず知らずの作業員たちが汗吹き飛ばしながら学寮のハードを立ち上げていく。学寮の若者たちよ、立ち上がろう！多くの愛に支えられて学寮のソフトをそれぞれの仕方でも実らせていこう。この時代にあってもこの世界を美しい秩序ある構成に変革していこう。



正面入り口より資材を運ぶ作業員  
(8月18日撮影)

## 自己紹介

成城大学大学院文学研究科 博士課程前期2年 星野 咲

自己紹介というのはなんとも困ってしまう文化である。いや、別に自己紹介でなくたって構わないのだが、日頃ロクな考え事をしている訳でない私の如きニンゲンは、こう言う場合自己紹介ぐらいしかすることが無いのである。と言って、別段紹介するほど面白い人間でもナシ、紹介できるほど明確な自己同一性を獲得しているでもナシ、……そも自己とは何だ？他人の評価を自分の価値とすることの愚かしさは説かれるところだが、いやしかし他者の存在無くしては自己なる概念もあろうわけもなく。はて自恃というのも難しい——いや待て、途中で話がすり替わっているじゃあないか。はて、自己だ、そしてそれを紹介するとは——云々カンヌン。ああ全くもうダメだダメだ、それらしい考え事をするには脳みその容量が決定的に足りていない。

だいたい私は直情型の人間で、野生動物ばりに本能と直感だけで生きているような人間なのだ。己が何者であるかなんて難しい命題を考えるより先に「今日の夕飯は何だろうナ、そういえば描いている漫画が途中だなあ、あの文芸部の友人は今頃どうしているんだろうか、依頼の絵の図案が思い浮かんだぞ、今度はクッキーでも焼くか、ソシャゲのメンテが始まって暇だ、この間の旅行は楽しかったナ、……」とかナントカ、その場その場の思いつきで手一杯、いや脳一杯になってしまふのである。とは言えそれが悪いたア思っちゃいない。動物的直感、大いに結構。私はこれで23年人間としてやって来れたし、向こう数日乃至数年乃至数十年もこれで充分人間としてやっていけるという自信がある。動物的直感と私が呼称しているものも、結局はある種の思考なり思索なり思惟なり何なりなのだ。たとい中身が浅薄であっても考えていれば人間なのだ。ワ—イ人間だ。深く思い巡らせれば何よりだということに変わりはないンだが。

そういえば有難い事に「文学で大学院まで進んでいらっしやるンですってネ、さぞかし優秀に違いないワ、きっと論理的に理論的に理知的に理性的に物事を捉えられるんだワ」と言っていたことが屢々あるのだが、お生憎様私は先述の通り「理」とはちょっと遠いところで生きている人間なので、こういう私が自認するところの私と乖離した褒め言葉がチョット苦手なのである。どうかこの雑文を読んでおいでの皆様におかれましては、私という人間を買い被らず、だいたいここに記した通りの人物であるとして、上も下も右も左も無くただ真ん中にポツネンと置く心算で接して頂き度く御願ひ申し上げ候。云々。



とかナントカくくだ述べている間に1,200文字になるか。よし来た。此处等でこの何だかよく分からない寒い雑文を締めて、もう一度惰眠を貪ることにしよう。なんといつても動物的直感で生きているので。読者諸兄諸姉、然らば然らば。

## 寮生十色

登戸学寮には個性豊かな若者が集います。今年度は全国また海外から16名の新入寮生を迎え、現在29名の寮生がコロナ禍のもと無事に寮生活を送っております。今回、下記の5項目について寮生に聞いてみましたので紹介いたします。

- ①入寮のきっかけ、②入寮してよかったこと、③大学のオンライン授業のメリット・デメリット、④入寮希望者へのメッセージ、⑤自分を漢字一字で表現すると

井藤智也 青山学院大学文学部4年

- ① 大学が決定したのが他の学生と比べて遅かったため。家具などをそろえる時間や手間が少なく済むと考えたため。また、大学へのアクセスも良かったため。
- ② 学習できるスペースが整っていること。新宿や渋谷などへのアクセスが良いため、行動範囲が広がり、さまざまな活動ができる。管理人がいらっしゃるのので、安心して生活できる。
- ③ メリット：時間的な制約が少なく済む。授業中に疑問があった際、チャットで気軽に質問しやすい。また、自身で調べる事も楽にできる。  
デメリット：オンラインであるということ

- 盾に、資料を配るだけの授業をしている講師がいる。急遽用意したために仕方がないと思うが、対面に比べ、圧倒的に質が落ちる。対面では、システム上履修できなくても興味のある授業に、単位の出ない「聴講」という形で参加できていたが、オンラインではそれが出来ない。
- ④ 登戸学寮は様々な人がいて面白いです。是非おいください。
- ⑤ 「柔」→ 慎重になりすぎて、優柔不断になってしまうことが多い。しかしその反面、柔軟性を持って対応できたり、人の意見を聞き取れたりできる。

柔

橋本結衣 日本女子大学人間社会学部1年

- ① 共同生活に興味があったからです！
- ② 人生経験豊富な先輩方から世間知らずの私に社会についてたくさん教えてもらえたことです。例えるならユー جونことフリン・ライダーに塔から出してもらったラプンツェルです^^
- ③ メリット：自分の好きな場所、タイミングで授業が受けられるところ、わかるまで戻って再生できることです。対面の授業とは違い、先生に直接質問することはできませんでしたが、教科書をゆっくり読み、授業動画を何度も見返せば理解することができ、自力で理解する能力が身に付いたのでオンラインで良かったな！と思いました。（私の大学では）  
デメリット：大学の友達がいなくてです。

姫



バーベキュー（7月）

ソーシャルディスタンスを保ちながら佐賀牛を堪能

レポートで不安なことがあっても気軽に質問できる友達がいなかったのが少し大変でしたが寮生が協力してくれたのでなんとかなりました！！

- ④ ご飯は美味しいです(\*^ω^\*)
- ⑤ 「姫」→ 私のあだ名「ゆいP」のPはPrincessのPだからです。

## 柴田真之介 慶応義塾大学商学部2年

- ① まとめサイトで見つけたことがきっかけ。
- ② 食事が美味しいこと。
- ③ メリット：通学時間が節約できることが良いこと。  
デメリット：通常時よりも課題や評定が厳し

くなるのが困ったところ。

- ④ この寮はご飯も美味しく、人も親切で安心できる寮です。
- ⑤ 「楽」→ 楽しく生きていたいから。

楽



流しそうめん (7月)  
流し台の竹は近所の  
廣福寺からいただきました

## 谷口舞 専修大学商学部4年

- ① 素敵な資料室を見て、立地ホームページに載っていた黒崎幸吉記念資料室が美しく、都会の情緒が溢れているなあと、当時都会っ子に憧れていた私にとって魅力的に移ったから。私が通っている専修大学には、体育学生のための学生寮しかないのも、当寮の入寮を決めたきっかけ。私にとって、駅からも大学からも近い場所にあるこの寮は住む上でメリットしかなかった。
- ② 個性あふれる多様な人と触れ合えること  
一人暮らしの子はよく、「寂しい」と漏らすのが、私は寂しさを感じたことは4年間で1度もない。なぜなら、「ただいま」というレスポンスが返ってくる環境があるからだ。寮には男女ともに年齢も境遇も違う様々な人が住んでいる。寮生と語り合うと、いつの間にか自分の脳みそに新たな引出しが出来上がる。楽しさだけでなく、学ぶことも多い。
- ③ メリット：ネット環境さえ整ってれば、好きな場所で授業が受けられる点、身支度をする必要がなく楽な点。  
デメリット：ディスカッション授業の時、対

気

面の時のような空気感があまり感じられないため、相手との温度差がある。ハウリングやバグ等のコミュニケーションを遮ってしまう問題が起きやすいこと。

- ④ 坂はきついですが、4年間も登れば慣れますし、いい運動になります。都心に近いにも関わらず、緑あふれる生田緑地の近くに我が寮は立地していません。都会と自然、両方味わえます。他人との生活は大変そうと思う方もいるでしょう。大変な部分もありますが、1人暮らしより楽な部分もあります。加えて、楽しさは他では勝てない魅力が我が寮にはあります。皆様も、普段ではなかなか経験できない共同生活を送り、新たな価値観を見出してみませんか？
- ⑤ 「気」→ 私は、元気、やる気、根気、いろいろな気を持ち、活気ある雰囲気を持っているから。

## 松井共生 玉川大学農学部4年

- ① 父親に勧められたから。
- ② 専属の調理スタッフがいるため、朝食、夕食が非常においしい。また、様々な地域から人が集まるため、今までにない様々な刺激を感じることができた。
- ③ メリット：移動時間が必要でなくなるため、その浮いた時間を自分のために使うことが

できるようになる。

- ④ 登戸学寮には個性豊かな人がたくさんいます。そのような人たちとの出会いは、きっとあなたの人生に良い刺激を与えたいと思います。
- ⑤ 「亀」→ 「ウサギとカメ」の亀のように、地道に前に突き進み続ける男です。

亀

## 聖書の言葉 生き抜かれた山上の説教

「座右の銘」とは常にその言葉に立ち返り自らを顧みる生の根源的視点である。小学生の頃から筆者の心の内奥から飛び出してくる言葉（群）はイエスの山上の説教 (Mat.5-7) であったと今にして思う。野球でボールをそらすと、父が後ろから「探せ、探せば見つかる」(7:7)と声をかけた。材木屋の我家には建築資材に事欠くことはなかったが、母は日曜学校で「岩の上に家を建てた賢者」(7:24)の紙芝居を見せて、「土台をしっかりと立てましょう」との明るい声を、人生は「天国への入学試験」とともに思い出す。今頃亡き母はどこかで微笑んで「信じた通りよ、「明日を煩わず」「狭き門から入りなさい」(6:34,7:13)」、それとも一層ニコニコして「ごめん、間違いだった」と言っているのだろうか！？



従順の信に基づく義

ピエタ 作者不詳 S.I. Steingraber 氏所蔵

この四か月学寮では山上の説教を学んだ。天父が祝福する人々は、戦後高度成長期の競争的な時代精神と何とも相いれなかった。子供心に二つの世界の認知的不協和を痛みとともに感じていた。柔和な者、憐み深い者そしてその霊によって貧しく、この世の何ものによっても満たされず神の正義を渴き求めそして平和を造らざるにはいられない心の清い者たちが神のお好みなのである、愛しい者を失い悲しむ者とともに。イエスご自身が「わが愛する子、わたしは嘉みした」(17:5)と天父に祝された。その八福を語る方は実はリアルタイムに祝福を生きる方であった。彼の言葉はひとの心に一度届くとそこから逃れられない「権威をもって」(7:29)語られた。いかにも憎悪即殺人、

色情即姦淫、愛敵即無抵抗などは良心・共知(conscience)の痛みの発動と共に常に身近であった。この春初めて聖書に触れた寮生諸氏にも、その言葉は不思議な力により心に格納され、突然良心が疼くこともあろう。

山上の説教は人類の誰かが言わねばならなかった、人間としての道徳上のまさにその究極の在り方を伝える。そこには信仰の直接の勧めも、奇跡の執行もない。彼は当時のユダヤ人の伝統的な道徳観の立場に身を置き、対人論法によりその不徹底さを指摘し、モーセ律法を急進化した新しい「教え」を言葉のみで伝える。パリサイ人は道徳的、司法的そして神の前これら三層を癒着させており、その三つ心が良心に基づく道徳的次元の純化により偽りとして摘出される。彼らは人々からの称賛により有徳を誇り、律法の形式的遵守により正義を主張し、その結果天国を当然の権利と看做す。彼らはこの世で「既に報いを受け取っている」(6:5)。「報い」は、地における善行への報酬で「既に」等しさが成立しており（さらに天は過剰）、功利主義的理解（最大利益即福）よりもまず比量的、応報的な等しさという正義を意味する。

比量的なモーセ律法を乗り越える、より根源的な信に基づく神の義はそこでのみ憐れみと両立した御子の従順の生を介して知らされた。右手で為す善行を左手に知らせない陰徳は一切を正確に知り、正義かつ憐れみ深い神の前での正しい判断を仰ぐことになる。恩恵の無償性に基づく福音のみが「わたしが律法を廃棄すべく来た」と汝ら看做すな・・成就すべく来た」(5:17)を実現させる。イエスは誰にも担いえない心の規範を与え、道徳的苦悩を課す方ではない。その言葉に偽りがなく、彼は山上の説教を生き抜き、またそれ故に死んだ。「疲れたる者、重荷を負う者、われにきたれ。汝らを休ませてあげよう。わが軛を担ぎあげ[わが歩調から]学べ、わたしが柔和で謙っていることを。汝らは汝らの魂に安息を見出すであろう。わが軛は良くわが荷は軽いからである」(11:28)。イエスと共に担ぎ歩く良き軽い軛とは信である。この比量不能な恩恵（御子における信に基づく神の義の啓示）においてひととは良心の宥め、平安、柔和を得る。

千葉 恵

## 理事会・評議員会 報告

### 1. 理事会、評議員会の開催

公益財団法人登戸学寮の定例理事会は、2020年5月23日（土）午後2:00～4:20に、定時評議員会は、6月13日（土）午後2:00～3:50にそれぞれコロナウイルス対策のためZoom会議形式で開催されました。以下にその議事内容について報告します。

### 2. 2019年度決算

別表の貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書が承認可決されました。

- ・ 2019年度収支計算書について、皆様のご協力のお陰によりまして、収入のうち、60周年寄付は、1,104万円、一般寄付607万円を計上させていただきました。
- ・ 60周年寄付を除いて通常の収支状況を見ますと、事業活動収入は、前年に比べ大幅な寮生数の減による減収にもかかわらず、大口寄付も含め一般寄付が大幅に増加しました。このため、パート職員給与、寮生募集目的の広報費等の事業活動経費が増加したにもかかわらず、事業活動収支差額は、188万円となりました。投資活動収支では、建物再建積立資金の積立（370万円）を見送ったため、当期

収支差額は、若干のプラス（67万円）となりました。（別表1参照）

- ・ 正味財産増減計算書について、収入面で、寮費、寄付金（一般寄付、60周年寄付金積立金からの一部事業前倒し用の振替額）など経常収益計2,557万円を計上、他方、支出面で、減価償却費を含め経常費用2,990万円を計上、更に経常外費用を差し引いた当期一般正味財産増減額は、-439万円となりました。また、指定正味財産増減額は、60周年記念事業寄付1,104万円から上記振替額を差し引いた1,019万円となりました。（別表2参照）
- ・ 貸借対照表について、60周年寄付（1,104万円）から一般正味財産振替分を差し引いて、指定正味財産が1,019万円増加しました。他方、一般正味財産の減少（-439万円）を反映して、正味財産期末残高は、579万円増加しました。（別表3参照）
- ・ 2019年度決算書類は、落合会計事務所の確認及び監事監査を経て、監査報告書とともに、理事会、評議員会に諮られました。落合税理士より、昨年度は、厳しい財務事情で建物再建積立ができなかったが、今年度は、新入寮生の増加も踏まえ、予算通り当該積立が行えるよう努力されたいとの指摘がありました。

【別表1】2019年度収支計算書（総括表）（60周年寄付は別掲）

単位：千円			
	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算
事業活動収入	23,371	25,107	29,006
事業活動支出	22,270	23,232	25,610
事業活動収支差額	1,101	1,875	3,396 (注1)
投資活動収支差額	-3,700	-1,209	3,700 (注2)
当期収支差額	-2,599	666	-304
次期繰越収支差額 (前期繰越)	6,275	6,941	(予測) 6,637
(別掲) 60周年寄付額	7,000	11,043	0

(注1)2019年度事業活動収入には、一般寄付607万円と特定費用準備金の取崩し分39万円が含まれる。

(注2)2019年度投資活動収入には、修繕等積立資産の取り崩し分46万円が含まれる。

同年度投資活動支出には、建物再建特定資産積立370万円は見送ったため、含まれない。

### 3. 特記事項

#### 1) 次期顧問の件

- ・ 次期顧問として織田千尋氏を再任することが承認可決されました。

- ① 役員（評議員、理事、監事）への定年制の導入（就任時80歳未満とする）
- ② 職員・パート職員の定年を現行の満65歳から満70歳に変更する

#### 2) 内規の改定

右記の2点の変更が提案され了承されました。

#### 【別表2】正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益財団法人 登戸学寮	H.31.4.1~R.02.3.31	H.30.4.1~H.31.3.31	単位:円
科目	当年度決算	前年度決算	増減
<b>I 一般正味財産の部</b>			
<b>経常収益</b>			
特定資産運用益	14,217	13,004	1,213
受取入寮費	1,200,000	300,000	900,000
受取寮費	17,163,863	19,932,937	-2,769,074
受取寄付金	7,068,040	2,903,228	4,164,812
雑収益	124,417	515,437	-391,020
<b>経常収益計</b>	<b>25,570,537</b>	<b>23,664,606</b>	<b>1,905,931</b>
<b>経常費用</b>			
<b>事業費</b>	<b>29,900,771</b>	<b>29,580,265</b>	<b>320,506</b>
人件費	8,960,106	8,857,750	102,356
賄材料費	2,670,366	2,738,226	-67,860
会議費・役員会雑費	293,319	419,212	-125,893
寮生福利厚生費・活動支援費	73,256	368,046	-294,790
旅費交通費・車両費	294,216	222,250	71,966
通信運搬費	1,131,297	806,469	324,828
減価償却費	6,729,160	6,646,041	83,119
消耗品費(厨房含)・事務用品費	521,248	495,519	25,729
修繕費・什器備品費	1,145,314	1,214,950	-69,636
方舟刊行費・印刷製本費	867,126	563,360	303,766
講演会諸雑費等	389,164	205,371	183,793
水道光熱費	2,506,065	2,427,069	78,996
広報費	1,599,026	866,526	732,500
図書新聞費	74,256	65,918	8,338
支払報酬料	571,858	615,672	-43,814
災害保険料・防災費	607,381	573,510	33,871
租税公課	357,900	358,500	-600
支払手数料・寄付金・その他	715,713	612,928	102,785
60周年記念事業費	394,000	1,522,948	-1,128,948
<b>経常費用計</b>	<b>29,900,771</b>	<b>29,580,265</b>	<b>320,506</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>-4,330,234</b>	<b>-5,915,659</b>	<b>1,585,425</b>
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>経常外費用計</b>	<b>60,001</b>	<b>0</b>	<b>60,001</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>-60,001</b>	<b>0</b>	<b>-60,001</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>-4,390,235</b>	<b>-5,915,659</b>	<b>1,525,424</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>10,185,022</b>	<b>9,333,161</b>	<b>851,861</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>244,263,131</b>	<b>238,468,344</b>	<b>5,794,787</b>



【別表3】貸借対照表

令和2年3月31日現在

単位:円

公益財団法人登戸学寮

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
流動資産			
現金預金	10,941,814	7,700,307	3,241,507
未収金	0	58,133	-58,133
仮払金	0	4,249	-4,249
前払金	1,024,837	1,079,810	-54,973
その他	196,132	76,577	119,555
<b>流動資産合計</b>	<b>12,162,783</b>	<b>8,919,076</b>	<b>3,243,707</b>
固定資産			
基本財産			
土地	592,500	592,500	0
建物	119,045,294	124,516,404	-5,471,110
定期預金	6,300,001	6,300,001	0
<b>基本財産合計</b>	<b>125,937,795</b>	<b>131,408,905</b>	<b>-5,471,110</b>
特定資産			
建物再建特定積立資産	73,748,012	73,748,012	0
修繕等特定資産積立資金	28,846,926	21,267,909	7,579,017
特定費用準備金	5,083,074	2,477,052	2,606,022
<b>特定資産合計</b>	<b>107,678,012</b>	<b>97,492,973</b>	<b>10,185,039</b>
その他固定資産			
その他固定資産合計	3,705,971	3,291,278	414,693
<b>固定資産合計</b>	<b>237,321,778</b>	<b>232,193,156</b>	<b>5,128,622</b>
<b>資産合計</b>	<b>249,484,561</b>	<b>241,112,232</b>	<b>8,372,329</b>
<b>II 負債の部</b>			
流動負債			
仮受金	0	0	0
前受金	3,333,480	1,138,048	2,195,432
未払金	1,322,531	975,549	346,982
預り金	25,419	110,291	-84,872
入寮時預り金	540,000	420,000	120,000
<b>流動負債合計</b>	<b>5,221,430</b>	<b>2,643,888</b>	<b>2,577,542</b>
固定負債合計	0	0	0
<b>負債合計</b>	<b>5,221,430</b>	<b>2,643,888</b>	<b>2,577,542</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産			
1.指定正味財産	30,929,983	20,744,961	10,185,022
2.一般正味財産	213,333,148	217,723,383	-4,390,235
<b>正味財産合計</b>	<b>244,263,131</b>	<b>238,468,344</b>	<b>5,794,787</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>249,484,561</b>	<b>241,112,232</b>	<b>8,372,329</b>

## 黒崎幸吉記念キリスト教講演会とホームカミングデー等の予定

以下で対応することとします。

### 前提としての新型コロナウイルスの見通し

東京都の新しい感染者数の状況を見ても、今後大きな改善の動きは見られない、このまま推移すると見るのが無難であると判断される。従って現状並みの各種社会的規制は継続されるという前提で考えたい。

### 黒崎幸吉記念キリスト教講演会の開催

6月7日の開催は暫定的に11月21日(土)に延期することとしてきた。しかしながら、上記の通り新型コロナウイルスの状況は改善の見通しが無く、延期スケジュールでも通常の形での公開講演会の開催は難しいと判断される。そこで、本公演会は下記(囲み)の通り誌面開催とする。

### ホームカミングデーの開催

黒崎幸吉記念キリスト教講演会と同様の理由で、11月21日の開催は中止する。

### 黒崎幸吉記念キリスト教講演会の誌面開催について

#### 1. 講師・題目(変更無し)

小畑 蒔恩(桜美林大学二年 登戸学寮卒業生)

「大学と演劇、京劇俳優たちの身体」

星野 咲(成城大学大学院二年 登戸学寮卒業生)

「横溝正史が日本探偵小説にもたらしたもの」

大友 浩(元寮長・札幌独立キリスト教会主管者)

「福音による人間形成」

#### 2. 誌面開催要領

登戸学寮の文集『方舟』次号(来年1月発行予定)を黒崎幸吉先生ご昇天50周年記念号として同誌に講演内容を掲載する。

### 11月21日(土)の各種行事予定(案)

10:30-12:00 寮友会総会

Zoom形式(寮友会会員)

13:00-15:00 臨時理事会・評議員懇談会

Zoom形式(理事、監事、評議員)

15:00-17:00 新入寮生歓迎会

Zoom形式(寮生、理事、監事、評議員、新入寮生ご家族希望者)

# 登戸学寮 寮友会 より

本会は男女や在寮期間を問わず原則として学寮生活を経験した卒寮生で構成され、創立者黒崎幸吉先生の登戸学寮建寮の趣旨を尊重し、会員相互の親睦と在寮生との交流、支援等を行うとともに、登戸学寮が末永く存続し続けるために必要な諸事業を支援することを目的として活動しております。

## ■ 私たちは同県人です

本号では福島県、京都府、鳥取県在住の卒寮生の方々をお届けします。数字は入寮年次です。

### 福島県 (3名)

- ☆ 渡辺邦彦さん 1980年 伊達市
- ☆ 小野良司さん 1981年 伊達市
- ☆ 石井 希さん 1982年 田村市

### 京都府 (2名)

- ☆ 香西 信さん 1987年 京都市
- ☆ 奥元久雄さん 2001年 相楽郡

### 鳥取県 (2名)

- ☆ 伊谷天兵さん 1983年 鳥取市
- ☆ 松浦 弘さん 1983年 鳥取市

## ■ 同期生消息 (1976年入寮)

本号では、登戸学寮の18期生の方々の消息をお伝えします。

- ☆ 相沢伸明さん 岩手県在住
- ☆ 加藤忠義さん 静岡県在住
- ☆ 小杉 隆さん 宮城県在住
- ☆ 白井 均さん 埼玉県在住
- ☆ 中山亮介さん 栃木県在住

## ■ 入寮時寮長 大島智夫先生

これらのデータは全て寮友会名簿に基づいてありますが、間違いを見つけた方は寮長か寮友会会長にご一報をお願いします。

## ■ 最近召天された卒寮生

- † 田島 誠さん 2019年10月 (1972年入寮)
- † 江口信一さん 2020年5月 (1960年入寮)
- † 萩原泰蔵さん 2020年9月 (1959年入寮)
- † 森 秀人さん 2020年9月 (1958年入寮)

## ■ 1976(昭和51)年の主な出来事、快挙

- ☆ 1月 国内初の5つ子誕生。



- ☆ 2月 ロッキード事件発覚 田中角栄前首相はじめ、政財界を巻き込む大贈収賄罪事件に。
- ☆ 5月 植村直己が1万2000キロの北極圏犬ゾリ横断を達成。
- ☆ 7月 モントリオール・オリンピックで女子バレー金メダル獲得、1964年の東京オリンピック以来の快挙、その後は取れていない。
- ☆ 10月 巨人の王貞治選手が対阪神戦でベーブ・ルースを抜く715号本塁打。
- ☆ 10月 中華人民共和国の文化大革命を指導した江青ら四人組が逮捕され、華国鋒が同国の首相に就任。

## コラム 俳句鑑賞の手引き

俳人（学寮OB） 岸本 尚毅

前回の本欄では、芥川龍之介の俳句に触れました。今回は室生犀星に触れます。犀星は「ふるさと」は遠きにおいて思ふもの／＼して悲しくうたふもの」と詠った大詩人で金沢出身。その出生の事情についてはいくつも論文が出ているほどで、ようするに実母が不明なのです。幼い頃に寺に貰われ、高等小学校を中退して地元の裁判所の「給仕」として奉職。上司の手ほどきで句作を始め、明治三十七年、十五歳のとき、地元の北陸新聞の俳句欄に入選。大詩人犀星の作品で最初に活字になったのは俳句だったのです。

犀星は二十歳のとき、文芸に志を抱いて上京し、放浪生活をしたり、同世代の詩人の萩原朔太郎と交友したり、文学者としての人生を歩み始めます。犀星は生涯を通じて断続的に俳句を作り続け、千七百句以上の句を残しています。

ゆきふるといひしばかりの人しづか 犀星

雪が降っていると言ったばかりの人は、そののち静かに黙したままだ、という意味です。このように犀星の句の多くは叙情的で、美しい。

ところが犀星という詩人は、たんに美しい詩歌を詠んだというだけで括れる人ではありません。犀星には、次のような、凄まじい句があります。

夏の日の匹婦の腹にうまれけり 犀星

犀星の戸籍上の誕生日は八月一日です。「匹婦」とは卑しい女。犀星は、年若い土族が奉公人とも芸妓とも言われる婦人に生ませた子で、いわば望まれずして生まれ来た子だったので。文学に志した犀星は資産も学歴もなく、しかし筆一本で芸術院会員にまで「出世」しました。同じ詩人でも萩原朔太郎は家が裕福で、ドラ息子扱いされながらも、犀星と朔太郎が同人誌を出す資金などは、結局、朔太郎が実家から受け取る小遣い銭だったのです。そんな朔太郎と対照的に、犀星という人は、繊細な詩人の魂を持ちながらも、生きることに関して猛烈にタフな人だったようです。本来は詩人である犀星が小説を量産するようになったのは三十歳以降ですが、それは結婚して妻子を持つ身となり、詩歌ではメシが食えないので、原稿が売れば金になる小説に進出したのです。そんな犀星はこんな句を詠みました。

梅咲きぬ食ふ銭ありて美しき 犀星

塩鮭をねぶりても生きたきわれか 犀星

食うこと、生きることに対する執念がうかがわれます。そのような犀星は、体質的に、一種の通俗性を持っていたようです（おそらく、それは大詩人の条件でしょう）。それを示すエピソードを、昭和の俳句史から拾います。

（次回に続く）

## ご支援へのお礼とご報告

多くの皆様から登戸学寮の事業へのご支援をいただき、今回も感謝をもってご報告いたします。尚、創立 60 周年記念事業の募金につきましては本年 3 月末で終了致しましたが、その後も同寄附金口座への入金をご頂戴しておりますので、下記は一般寄附と合わせた集計結果です。

### 寄附者ご芳名（一般寄附および 60 周年特別寄附）

2020 年 4 月 1 日から 7 月 31 日まで（敬称略）

注 1. 個人と団体合計 108 名、125 件

#### （個人） 107 名

相澤 忠一、青木 幹夫、阿部 光成、新井 明、飯田 順朗、五十嵐 みゆき、石川 知生、石原 能行、石渡 正子、伊藤 康子、稲永 丈夫、井上 眞一・真理、岩沙 克次、内田 祥子、内野 隆三、大内 信一、大崎 桂介、太田 源左衛門、岡田 菊造、奥田 照夫、小野澤 和彦、賀久 はつ、金井 守、金沢 信治、金子 幸子、川島 重成、菊池 信生、岸本 尚毅、岸本 由美、木下 智雄、木村 秀夫、櫛田 俊明、熊川 忠、倉石 重造、黒崎 光子、黒崎 稔、黒崎 めぐみ、黒崎 留己子、小泉 智博、香西 信、幸野 道雄、小河原 貞一、小島 拓人、小関 道子、小西 孝蔵、小山 高澄、齋藤 英里、齋藤 喜好、酒井 迪郎、笹井 岩男、佐竹 好光、佐藤 全弘、山藤 晴也、市東 禮次郎、白方 勇一、末次 まゆみ、鈴木 和賀子、須山 英三、副島 茂、副島 浩、高木 博義、

高田 暁治郎、高田 正、高山 久郎、武井 陽一、竹内 恵子、竹内 弘之、月本 昭男、土岡 和樹、東方 教子、富井 直子、富永 尚、友寄 隆房、豊田 江美、鳥居 祝子、永井 和子、中島 康孝、中村 志津、南雲 清美、西野 勝、西原 偕子、野々瀬 浩司、橋本 隆夫、早川 真、坂内 義子、日暮 眞、平田 和吉、福島 穆、福田 由美子、藤澤 茂登一、藤田 ナツ子、藤田 信夫、古角 隆、細貝 昭吾、本田 圭、前川 契子、松永 富雄、三田 洋子、南本 淳子、三宅 順子、安田 裕、山田 章博、山本 鐵子、吉原 賢二、吉村 薫、李 善利、鷺崎 安久

#### （団体・法人） 1 名

とちぎ聖書研究会

以上

## 寮生の出身都道府県

太字は新入寮生

2020.9.1 現在

男子寮生（16 名）	女子寮生（13 名）
北海道、岩手県、宮城県、山形県（2 名）、 <b>福島県</b> 、栃木県、茨城県、群馬県、千葉県、神奈川県、静岡県、広島県、長崎県、韓国（2 名）	北海道、 <b>埼玉県</b> （新入寮生 3 名 + 在寮生 1 名）、 <b>神奈川県</b> 、 <b>新潟県</b> 、 <b>長野県</b> （新入寮生 1 名 + 在寮生 1 名）、 <b>岐阜県</b> 、福岡県、沖縄県、中華人民共和国

#### 【訂正とお詫び】

前号の目次及び 8 頁で「理事会・評議員会報告」とあるのは「理事会・評議員会報告」の誤りでした。訂正しお詫び申し上げます。

#### 【編集後記】

春発行の前号のデザイン色は青でしたが、秋発行の今号はオレンジにいたしました。今後も季節でデザイン色が変わります。(C.O)

#### 公益財団法人 登戸学寮

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柗形 6-6-1

☎ 044-933-0819 ☒ noborito@gakuryo.or.jp

発行人 小島拓人

編集委員 千葉 恵、千葉美佐子、鷺見八重子、岸本尚毅、早川 嗣、織田千尋

発行日 2020 年 10 月 20 日